

研究課題名	多発性骨髄腫患者におけるレナリドミドによる皮膚障害のリスク因子の検討
研究責任者(職名)	薬剤科 杉 富行 (薬剤師)
実施責任者(職名)	薬剤科 杉 富行 (薬剤師)
研究期間	2020 年 7 月 1 日 ~ 2022 年 3 月 31 日
研究目的と意義	<p>多発性骨髄腫の治療で使用するレナリドミド (商品名:レブラミド) の副作用の一つに皮膚障害があります。レナリドミドによる皮膚障害は年齢や性別、治療歴などの因子があると発現しやすいリスク因子などは、現在のところわかっていません。そこで薬剤科ではレナリドミドを投与された患者さんの情報を調べ、皮膚障害を発現しやすい因子について研究を行っています。</p> <p>この研究結果によっては、治療開始前にレナリドミドによる皮膚障害が起きやすい方を把握でき、予め対策が立てやすくなります。</p> <p>この研究は、研究目的、研究方法などについては当院の倫理委員会で十分に審査されたものです。</p> <p>患者さんの診療録や検査データを用いて解析を行います。個人名、住所などは完全に匿名化され、個人を特定することは不可能になっており、不利益が及ぶことはありません。今後のレナリドミドの治療を受ける多くの患者さんの将来の利益のために行われている研究ですので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。</p>
研究内容	<p>●対象となる患者さま</p> <p>永寿総合病院血液内科にてレナリドミドを服用された方 (約150名)</p> <p>●利用する情報</p> <p>上記調査対象の方の診療録から、治療歴、血液検査データ、薬剤投与状況、副作用所見などを中心に調査を行います。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>薬剤科 杉 富行 (薬剤師)</p>